

工事名称

川越南小学校洋式トイレ化工事

仕様書

(機械設備の部)

工事概要

1. 工事場所

川越町大字高松258番地

2. 建物概要

国：国有財産法延面積 (㎡) 建：建築基準法延面積 (㎡)

建物名称	構造及び階数	国：延面積	建：延面積	消防法施行令の適用	区分	備考
小学校	R C造4階	*	*	別表第一 (7) 項	特定の施設	

3. 工事種目

○印の付いたものが対象

建物種別及び屋外	工 事 種 別
工事種目	各トイレ
・空調設備	
・換気設備	
・排湿設備	
・自動制御設備	
○衛生器具設備	
○給水設備	
○排水設備	
・給湯設備	
・消火設備	
・厨房設備	
・ガス設備	
・浄化槽設備	

4. 指定部分

○ 無 ・ 有

対象部分:

5. 設備概要

○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。

方式及び種別	設 備 概 要
・空調方式	・○○○○方式
・主要熱源機器	・冷水温水機 ・パッケージ型空調機
・自動制御方式	・電気式 ・電子式 ・デジタル式
・給水方式	・水道直結方式 ・高置タンク方式 ・圧力タンク方式 ・ポンプ直送方式 ・増圧給水直結方式
・排水方式	建物内汚水、雑排水 (・食流式 ・分流式) ・有 (・汚物 ・雑排水 ・湧水) ・無 建物外放流先 汚水 (・直放流下水管) 雑排水 (・直放流下水管)
・消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結散水設備 ・連結給水管 ・不活性ガス消火設備 (・)
・ガスの種類	・都市ガス (種別 ・発熱量 MJ/m ³ 、供給事業者名) ・液化石油ガス (・ポンベ ・バルクタンク)

工事区分表 (図面に特記なき場合は工事区分表による)

項 目	機械設備	建築	電気設備
開 錠部材のはり貫通部	○	○	○
錠鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	○	○	○
口 R C部材のはり貫通部	○	○	○
R C部材の床・壁の貫通部	○	○	○
床デッキプレートの貫通部	○	○	○
開口部の穴埋め補修	○	○	○
天井・経路開仕切りの開口	○	○	○
基礎等	○	○	○
・屋上設置の設備機器の基礎	○	○	○
・大形設備機器の基礎	○	○	○
・防水層に影響する基礎	○	○	○
上記以外の機器の基礎	○	○	○
・架台、アンカーボルト	○	○	○
外部取付弁等	○	○	○
換気扇の取付枠	○	○	○
排水水槽のマンホールふた	○	○	○
湯沸室等流し台	○	○	○
湯沸室等の排水フード	○	○	○
床、天井点検口	○	○	○
防汚堤	○	○	○
・機器付属の制御盤以外の二次制御配管配線 (接地地)	○	○	○
・機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○	○	○
・自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	○	○	○
・自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線	○	○	○
・配 機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線 (接地地)	○	○	○
・煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線	○	○	○
・屋外用貯水装置の制御盤以外の二次側の配管配線	○	○	○
改修工事	○	○	○
・コンクリート壁、床など	○	○	○
・天井、壁などのボード類	○	○	○

仕様書

(機械設備の部)

工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁規格制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「標準図」という。)

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 量は●印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○・印の付いたものを適用する。
(3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事においては、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置を要するものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第26条(危機の措置)の規定による。

3. 建設発生土の処理方法

・構内敷きならし
・本工事は、建設発生土情報交換システム(以下「システム」という。)の登録対象工事であるが、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。
構内搬出(片道運搬距離 約 km)
D/D区間 (・ 有 ・ 無)

4. 環境への配慮

(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づき、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月閣議決定)」に定める特定調達品目分野「公共工事」の品目を調達する場合は、半断の基準等を満たすものとする。
(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。

- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジエーナル及びフタル酸ジエーニルヘキシル等)を含有しない揮発性の可塑剤を除去し、揮発性の可塑剤が減少している材料を使用し、揮発性の可塑剤を除去し、揮発性の可塑剤が減少している材料を使用する。
- 1の材料を使用し、揮発性の可塑剤を除去し、揮発性の可塑剤が減少している材料を使用し、揮発性の可塑剤を除去し、揮発性の可塑剤が減少している材料を使用する。

5. 機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 別表一に機材等名が記載された製造業者等は次の1から6までの事項を満たす事項となる資料を提出し、監督職員の承認を受ける。ただし、次の1から6までの事項を即座にされた事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- 安定した供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制を整えていること。

6. 足場その他

・別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が定置したものは無償で利用できる。
・本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別組1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2「の手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
改修標準仕様書第3編2.2.1より足場の構築は以下による。
(内部足場) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
・ 外部足場 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種)
・ 掘り土土中の良質土 (コンクリート管以外の管の間隔は山砂の類) ・ 山砂の類

章 目

特 記 事 項

一般共通事項

8. 施 工 等

本工事で作成する施工図等のうち、次の原図及びその複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等が原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。
なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に関する権利は、発注者に移譲する。
機材設計原 一式、機材・配管測定施工図 一式
試験成績書 一式、機材・配管測定施工図 一式

9. 機材の承諾

機械設備工事機材承諾図様式集(平成28年版)によるほか、監督職員の指示による。
・ 本工事として下記項目の計画書及び測定報告書提出する。 ・ 別途とする。
測定項目 (測定箇所等は監督職員の指示による。)

- 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定
- 室内気流及びばいじんの測定 ・ 騒音の測定
- 飲料水の品質の測定 ・ 初期運転状態の記録

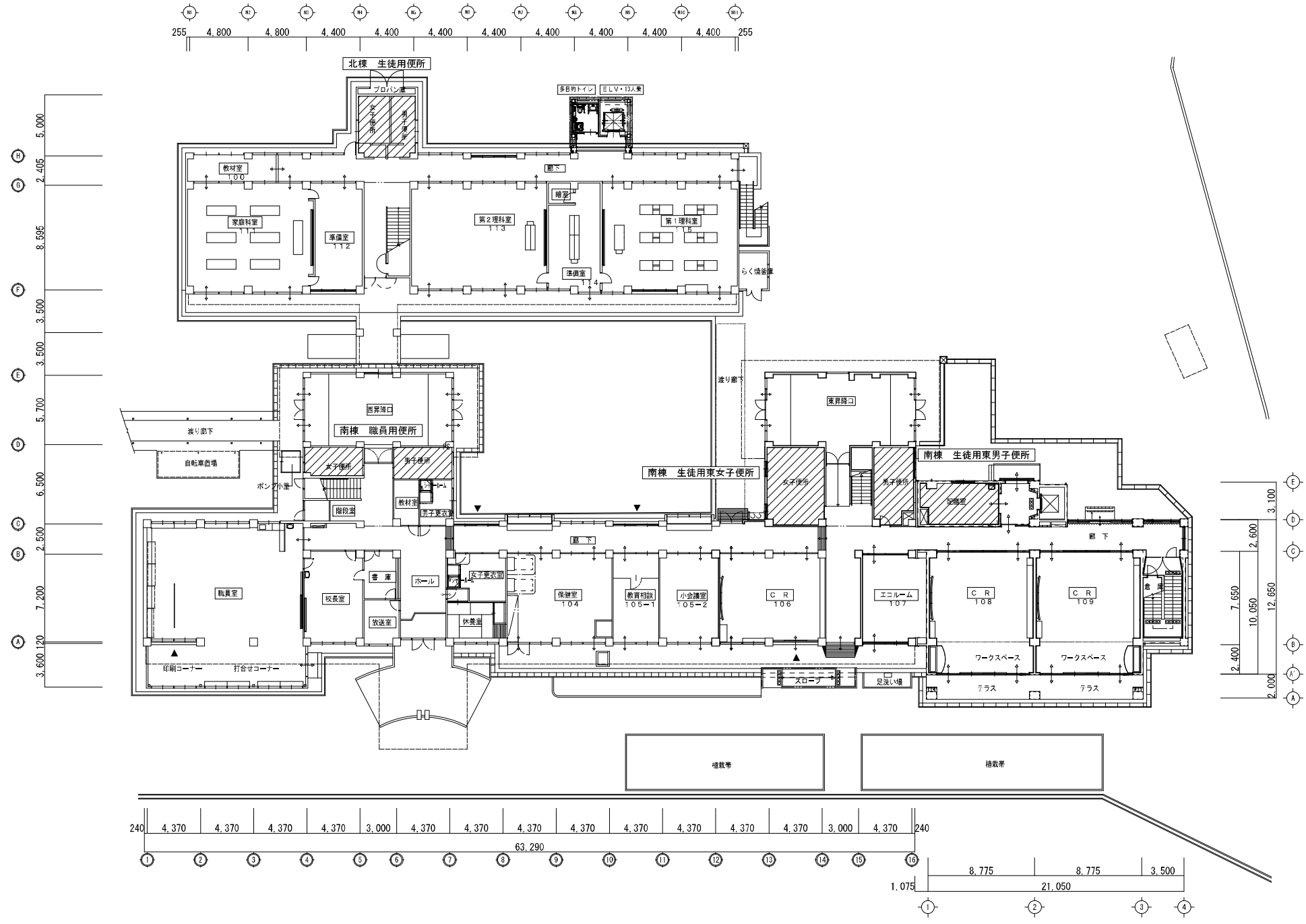
11. 電 動 機

換気扇、圧力泵及び標準仕様書に記載のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品として

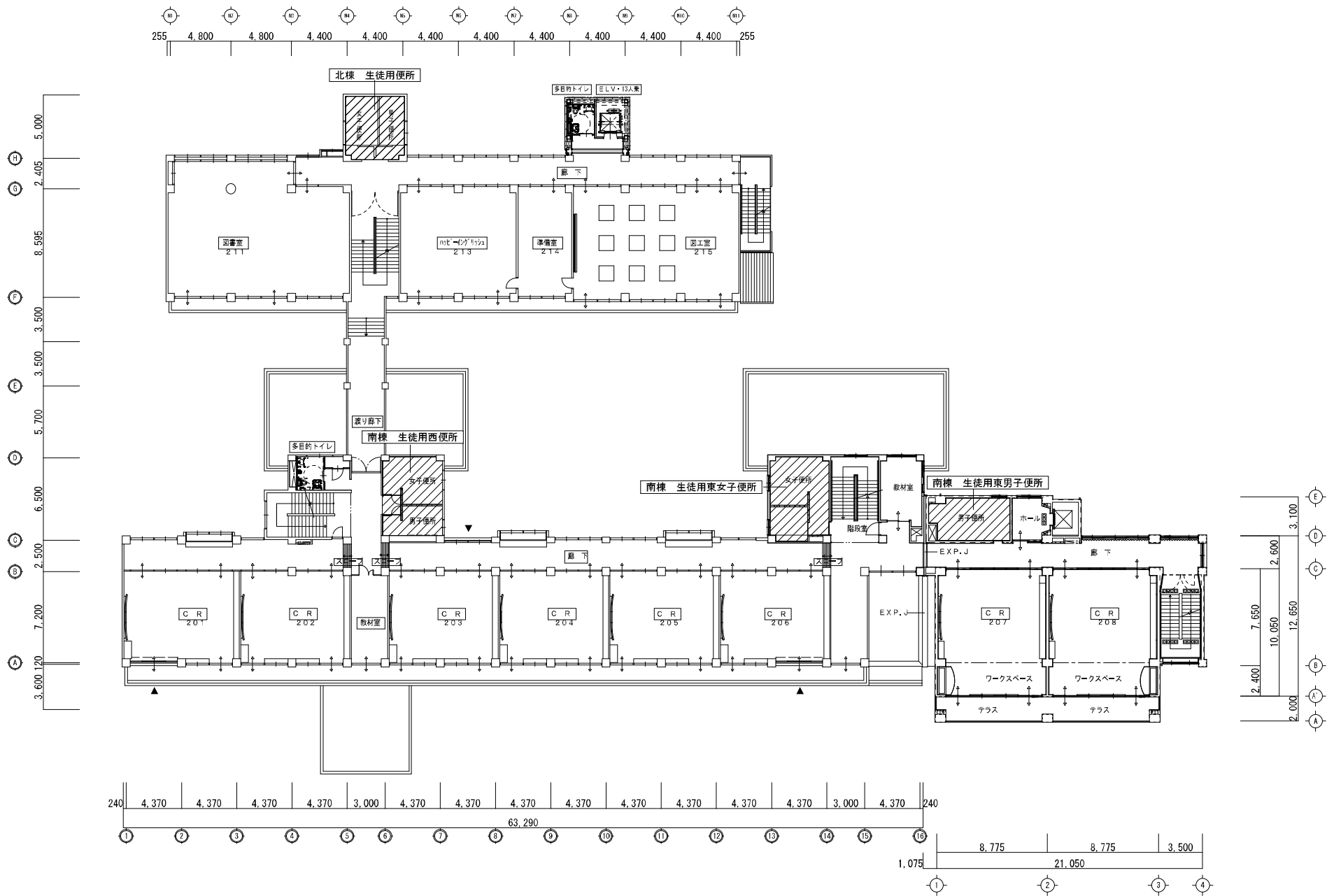
章 目		特 記 事 項		別表－１ 機 材 等 名 鋼製ボイラー 鋼製簡易ボイラー 鋼製小型ボイラー 鑄鉄製ボイラー 真空式温水発生機（鋼製・鑄鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鑄鉄製） チリングユニット 通心冷凍機 吸収冷凍水機 吸収冷凍水機ユニット 冷却塔 ユニット形空気調和機 コンパクト形空気調和機 ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット バックージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 エアフィルター（ハネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器 全熱交換器（回転形、静止形） 遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機 空調用密閉形隔膜式膨張タンク 風量ユニット（定風量、変風量） 自動制御システム 衛生器具ユニット 横形通心ポンプ 立形通心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） FRP製ハネルタンク ステンレス鋼板製ハネルタンク（溶接組立形） ステンレス鋼板製ハネルタンク（ボルト組立形） 給湯用密閉形隔膜式膨張タンク スプリンクラー消火システム 泡消火システム 不活性ガス消火システム ハロゲン化物消火システム 厨房システム マンホールふた・弁柵ふた
○衛生器具設備	1. 小 便 器 2. 水 栓 3. 掃 除 流 し 4. 和風便器耐火カバー	洗浄水量は４ L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・ カウンター取付け形 ・ 耐寒水栓（吊コマ） ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は（ ・ 目皿 ・ 鎖付きゴム栓）とする。 和風便器の防火区画貫通処理は標準図による。		
○給水設備	1. 配管材料 2. 引き込み納付金 3. 量 水 器 4. 量水器樹 5. 水 栓 栓 6. 管の地中埋設深さ 7. 凍結深度	(1)一般配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ○塩ビライニング鋼管（○ ＶＡ又はＶＢ ・ ） ・ ポリ粉体鋼管（・ ＰＡ又はＰＢ ） 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンター内配管はＰＤ又はＶＤとする。 (2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（・ 建物内 ・ 屋外部分） ○塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ ポリエチレン管（・融着接合 ・メカニカル接合） (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 親メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図MC形 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ・ 埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ 600mm ・ mm）以上 その他の部分では管の上端より（ ・ 300mm ・ mm）以上 屋外配管の凍結深度は mm		
○排水設備	1. 配管材料 2. 洗面器等の排水管 3. 放流納付金 4. 満水試験継手 1. 配管材料 2. 保 温 3. そ の 他	(1)屋内 汚水管 （及び屋外第一階まで） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ○耐火二層管 ・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○耐火二層管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ コーティング鋼管 (2)屋外 樹間 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP－VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS－VU） ・ コンクリート管（ ・ 外圧管1種のB形 ・ ） リサイクルビニル管の適用範囲（RF－VP）：屋内の無圧の排水配管用 （REP－VU）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 （RS－VU）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 (1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。 (2)給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF－VP）でもよい。 (3)大便器、小便器、洗面器及び掃箒流しとの接続管は、ビニル管（RF－VP）とする。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要		
○給湯設備	1. 配管材料 2. 保 温 3. そ の 他	図示の位置に取付けける。今回必要に及び、設置し満水試験を行うこと。 給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） ・ ステンレス鋼管（SU304） ・ 銅管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 複重鋼管 ・ 保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 標準仕様書第2編3．1．5によるほか、下記による。 ・ 湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は表2．3．5のh・（イ）・区の保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。		
○消火設備	1. 配管材料 2. 屋内消火栓種別 3. 屋内消火栓開閉弁 4. 地中埋設配管の接合 5. 保 温	(1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（SU304） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（SU316） ・ (2)連絡送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Sch40） 地中 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Sch40）（外面被覆） (3)連絡散水管 ・ ・ 易操作性1号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 箱内に別途機軸（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・ TOK ・ 外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合とする。 屋外露出部分 ・ 有（標準仕様書第2編3．1．5の給水管の項による。） ・ 無		
○厨房設備	1. 機器の寸法 2. 機器の機能等	概略寸法とする。 図示による。		
○ガス設備	1. 配管材料 2. ガス充てん容器 3. ガスメーター 4. ガス漏れ警報器 5. 気密試験	・ 都市ガス 一般ガス配管事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガス 露出部及びコンクリート埋込み部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設部 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ・ 借用 ・ 本工事 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 親メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） ・ 本工事（図示による） 外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 別途工事 都市ガス ガス供給事業者の供給規定による。 液化石油ガス 保持時間は、24分以上とし記録計による測定表を提出する。		
○衛生設備	1. 形 式 2. 測 定 表	・ ユニット形 ・ 現場施工形 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。		

月 日:		月 日:	
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司		設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之		整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事		No. M — 02
				年 月 日	A1 NS A3 NS	特記仕様書（２）		16



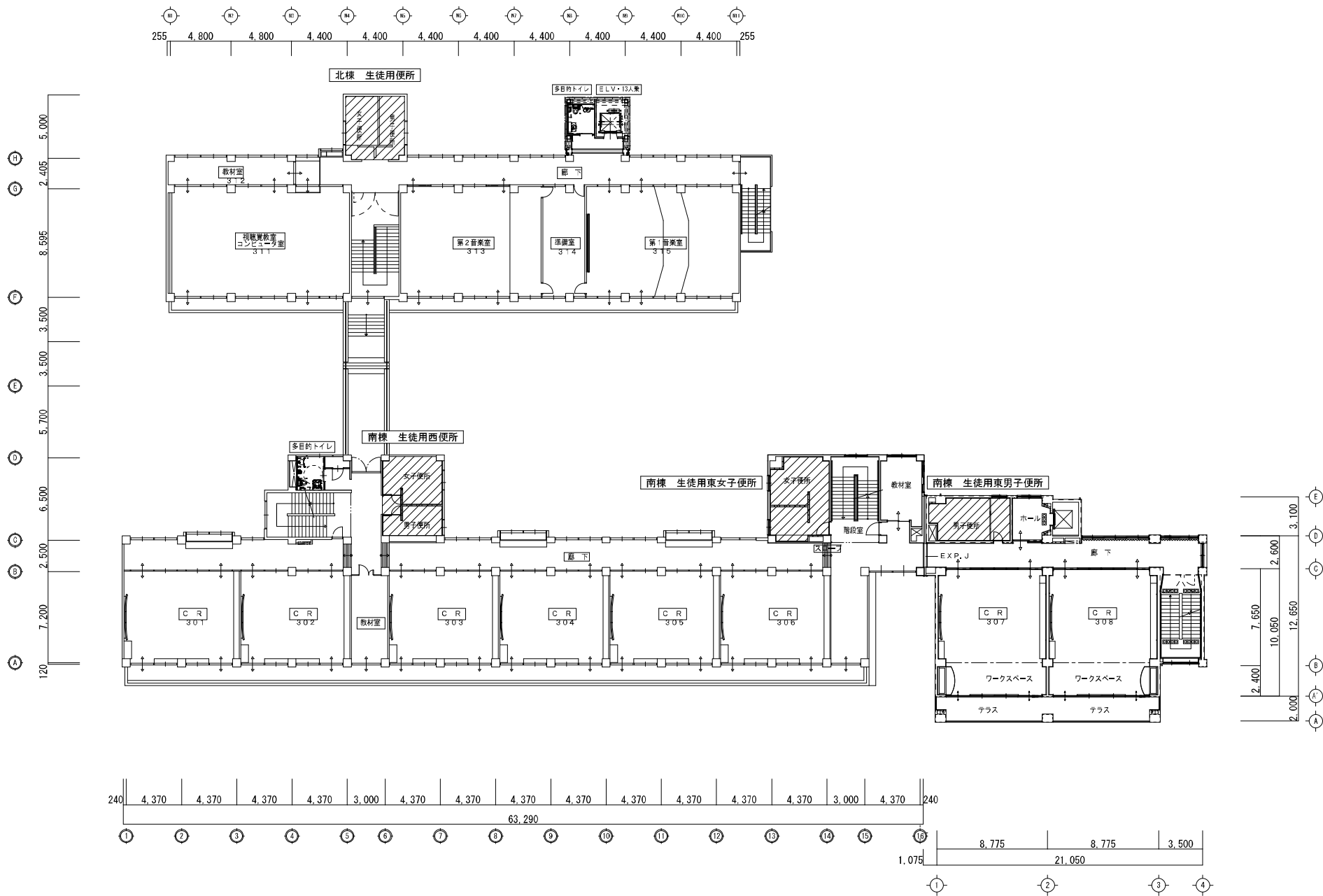
月・日:	月・日:		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市米町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越南小学校洋式トイレ化工事 1階平面図	NO. M-03 16
.	.							
.	.							
.	.							



2階平面図 1/200

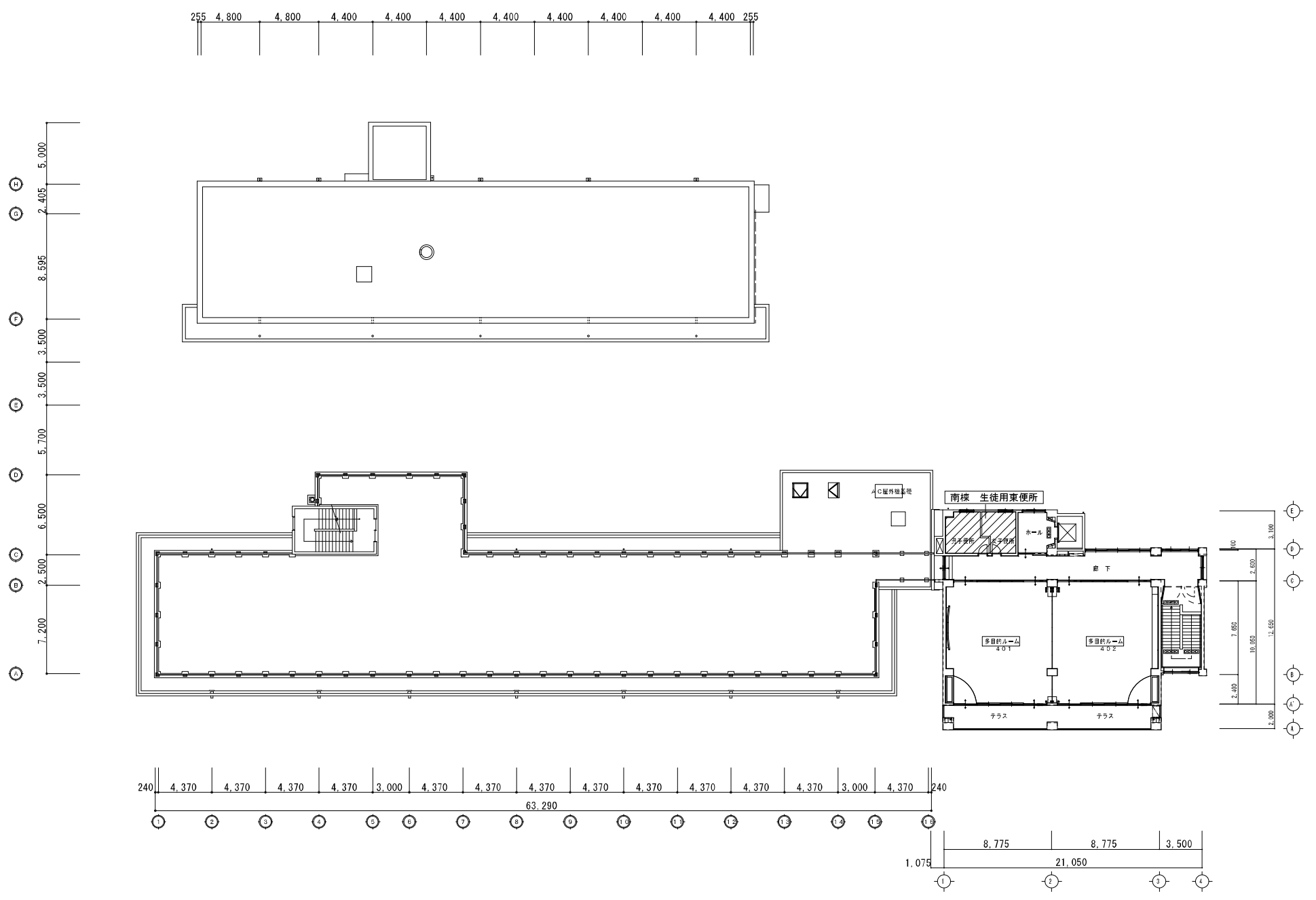
凡例
改修範囲を示す

月・日:	月・日:		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市米町二丁目428番地 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年月日	縮尺 A1 1/200 A3 1/400	川越南小学校洋式トイレ化工事 2階平面図	NO. M-04 16
------	------	--	--	----------------------------	-------------	----------------------------	-------------------------	-------------------



3 階平面図 1/200

月・日:	月・日:		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市米町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越南小学校洋式トイレ化工事 3 階平面図	NO. M - 05 16
------	------	--	--	----------------------------	---------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------



4 階平面図 1/200

凡 例
改修範囲を示す

月 日	月 日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市米町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越南小学校洋式トイレ化工事 4 階平面図	NO. M - 06 16
.	.							
.	.							
.	.							

改修前

1階 職員女子便所 平面図 1/30

注記)

1. 図面を鑑み、衛生器具は既設のままでする。
2. 既設衛生器具の位置確認の上、施工を行うこと。
3. 施工中、改修器具(後継しない便器等)を撤出した場合は、施工者側で新品に換装にて取替を行うこと。

タイプ	型番	付属品	仕様	計	改修方法
A	CS430(洋流便器)	1Q108(暖房暖器)		1	暖房暖器のみ撤去
B	CS430(洋流便器)	1Q108(暖房暖器)		1	暖房暖器のみ撤去
D	12305(洗面器)	TEL700M(自動水栓)		2	自動水栓のみ撤去

凡例

記号	説明
○	排水配管
△	汚水配管
□	給水管
■	配管切断
□	既設暖房暖器

床土上撤去範囲を示す(設置工事)

改修後

1階 職員女子便所 平面図 1/30

注記)

1. 改修方法は、概説図面を参照とする。

タイプ	参考型番	付属品	仕様	計	改修方法
A	CS430(洋流便器)	1Q108(温水洗浄便座、必要な金物一式)		1	温水洗浄便座に取替
B	CS430(洋流便器)	1Q108(温水洗浄便座、必要な金物一式)		1	温水洗浄便座に取替
D	12305(洗面器)	TEL700M(台付自動水栓、必要な金物一式)		2	自動水栓のみ取替

改修方法タイプリスト

タイプ	改修方法
A	既設洋流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
B	既設洋流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
C	既設洋流便器(窓あり)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
D	既設洋流便器(窓なし)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
E	既設洋流便器を撤去し、自動水栓に取替する。
F	既設洋流便器(窓あり)を撤去し、自動水栓に取替する。

床土上撤去範囲を示す(設置工事)

改修前

1階 職員男子便所 平面図 1/30

注記)

1. 図面を鑑み、衛生器具は既設のままでする。
2. 既設衛生器具の位置確認の上、施工を行うこと。
3. 施工中、改修器具(後継しない便器等)を撤出した場合は、施工者側で新品に換装にて取替を行うこと。

タイプ	型番	付属品	仕様	計	改修方法
A	CS430(洋流便器)	1Q108(暖房暖器)		1	暖房暖器のみ撤去
D	12305(洗面器)	TEL700M(自動水栓)		2	自動水栓のみ撤去

凡例

記号	説明
○	排水配管
△	汚水配管
□	給水管
■	配管切断
□	既設暖房暖器

床土上撤去範囲を示す(設置工事)

改修後

1階 職員男子便所 平面図 1/30

注記)

1. 改修方法は、概説図面を参照とする。

タイプ	参考型番	付属品	仕様	計	改修方法
A	CS430(洋流便器)	1Q108(温水洗浄便座、必要な金物一式)		1	温水洗浄便座に取替
D	12305(洗面器)	TEL700M(台付自動水栓、必要な金物一式)		2	自動水栓のみ取替

改修方法タイプリスト

タイプ	改修方法
A	既設洋流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
B	既設洋流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
C	既設洋流便器(窓あり)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
D	既設洋流便器(窓なし)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
E	既設洋流便器を撤去し、自動水栓に取替する。
F	既設洋流便器(窓あり)を撤去し、自動水栓に取替する。

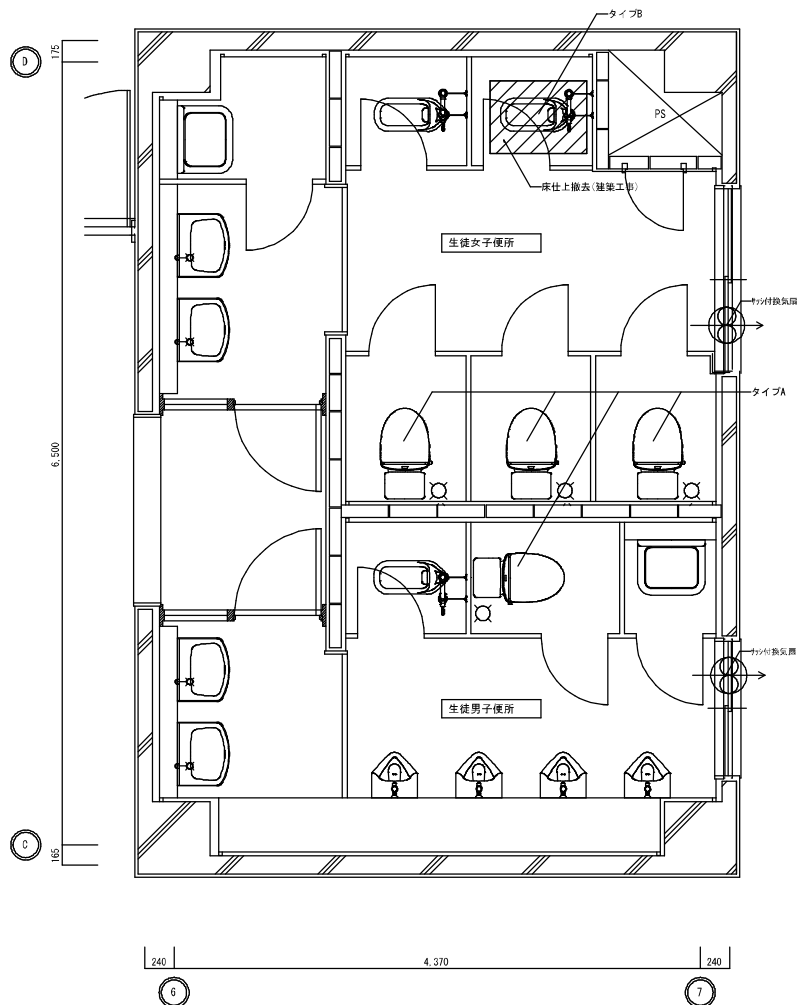
床土上撤去範囲を示す(設置工事)

川越南小学校洋式トイレ化工事

南棟1階職員便所衛生器具改修図

16

改修前



南棟2、3階生徒用西便所 1/30

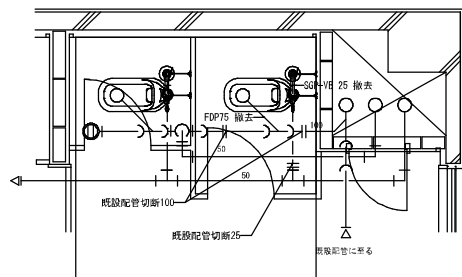
注記)

1. 記録紙を限り、衛生器具は廃没のままとする。
2. 既設衛生器具の型番確認の上、施工を行うこと。
3. 施工中、既存器具(改修しない便器等)を破損した場合は、施工者側で新品に無償にて取替を行うこと。

機 器 要								
タイプ	型 番	仕 産 品	家族座使用				計	通導方法
			男子使用		女子使用			
			2F	3F	2F	3F		
A	C8432(洋品使用)	13G108(電扇使用)	1	1	3	3	8	服罩使用のみ削減
B	C850F(和服使用)	1V350M(デッサンA7)・13G36A3(床砂丸3F5F)移員及び会合一式			1	1	2	和服使用削減

 灰仕上撤去範圍を示す(建築工事)

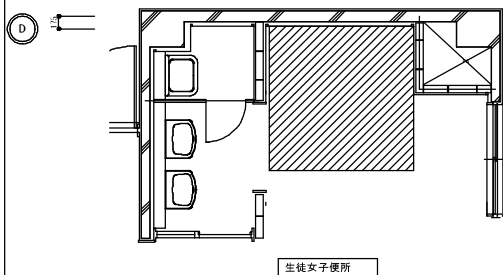
改修前



南棟 2、3 階生徒用西便所 既設配管図 1/30

凡例	
	给水配管
	污水配管
	配管概云
	既設配管等明
	天井仕上撤去範圍(建築工事)

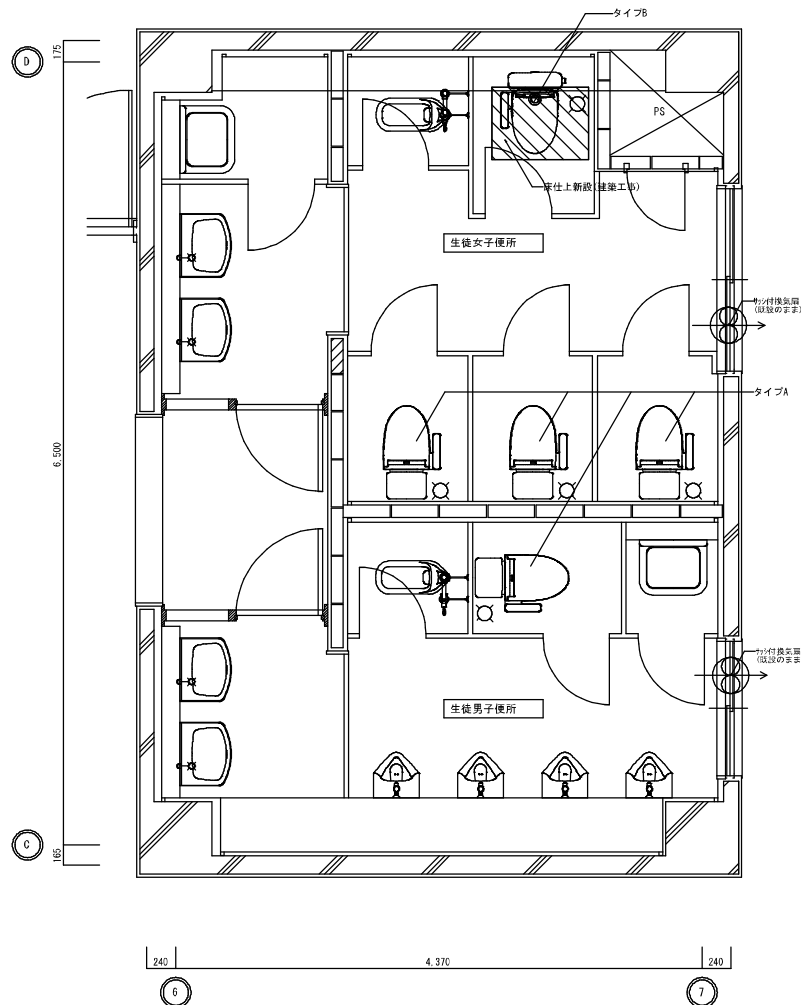
改修前



南棟2、3階生徒用西便所 天井伏図 1/50

凡例	
	天井 300角 一次取外し
	天井仕上撤去範囲(建築工事)

改修後



南棟 2、3 階生徒用西便所 1/30

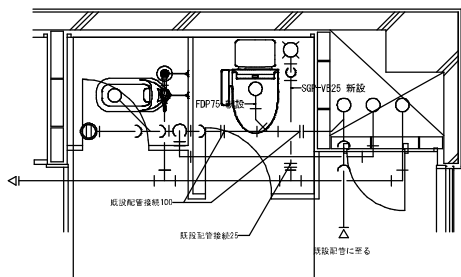
注記)

1. 改修方法は、雑詳細図を参照とする。

特 長 要		参 考 型 番	付 属 品	家族型タイプ				計	取組方法
タイプ	参考型番			男子使用		女子使用			
				2F	3F	2F	3F		
A	CS430(圧入使用)	125483(電気式浄水器)、その他必要な金庫一式	1	1	3	3	6	電気式浄水器に接続	
B	CS458C(圧入使用)	SP1488A(配給タンク)、125488(電気式浄水器)、124988(床排水ソケット)、その他必要な金庫一式	1	1	1	1	2	排水設備 接続	

 床仕上新設範囲を示す(建築工事)

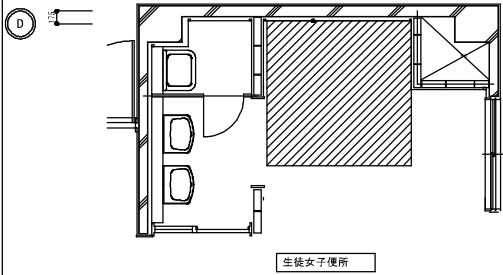
改修後





南棟 2、3 階生徒用西便所 新設配管図 1/30

凡例	
	给水配管
	污水配管
	配管新设
	既设配管接续
	天井上开检修窰(挖通工事)

改修後



南棟2、3階生徒用西便所 天井伏図 1/50

凡例	
	天井開 300角 再取付
	天井仕上設置範圍(建築工事)

改修方法タイプリスト

タイプ	改善方法
A	風況洋式機操便座を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
B	風況和式便座を撤去し、洋式便座を新設する。
C	風況洋式機操便座を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
D	風況自動水洗便座を撤去し、自動水洗新設する。
E	風況温水水洗便座を撤去し自動水洗便座を新設する。
F	既設暖房器具(給まり炉等)に付く燃費器具を撤去し新設する。

月・日		月・日	
・		・	
・		・	
・		・	

株式
会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

設計
一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号

縮尺	
----	--

4	5	6
---	---	---

A1 1/30, 50

A3 1/60, 100

川越南小学校洋式トイレ化工事

南棟2、3階生徒用西便所衛生器具改修区

NO.	
-----	--

M — 08

16

株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0059 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/30 A3 1/60	川越南小学校洋式トイレ化工事 南棟1階生徒用東女子便所衛生器具改修図	NO. M — 09 16
--	-----------------------------	---------------	---------------------------	---------------------------------------	---------------------

改修前

2、3階 生徒用女子便所 平面図 1/30

改修前

2、3階 生徒用女子便所 既設配管図 1/30

改修後

2、3階 生徒用女子便所 平面図 1/30

改修後

2、3階 生徒用女子便所 新設配管図 1/30

注記

1. 配管機を張り、配管器具は既設のままでする。

2. 改修機を器具の右側壁の上、施工を行うこと。

3. 施工や、取付器具(改修しない機器等)を留付した場合、施工業者等にて新品に交換にて取替を行うこと。

器具表

タイプ	記号	付 属 品	両 側		計	改修方法
			2F	3F		
A	CS430 (洋流便器)	TCF108 (暖房便座)	3	3	6	暖房便座のみ撤去
B	CS150VF (和流便器)	TVF500M (トイレタンク)、TSFPM75 (排水ホース) 器具及び金物一式	3	3	6	和式便器撤去
D	LT230S (床立器)	TE130AK (自動水栓)	3	2	5	自動水栓のみ撤去

注記

1. 改修方法は、設計断面を参照とする。

器具表

タイプ	参考記号	付 属 品	両 側		計	改修方法
			2F	3F		
A	CS430 (洋流便器)	TFP388 (温水洗浄便座)、必要な金物一式	3	3	6	温水洗浄便座に新設
B	CS150BSC (洋流便器)	SP490EAY (自動タンク)、TCF388 (温水洗浄便座)、TFP496 (床立ホースセット)、必要な金物一式	3	3	6	洋流便器 新設
D	LT230S (床立器)	TE130AK (付付自動水栓)、必要な金物一式	3	2	5	自動水栓の新設

改修方法タイプリスト

タイプ	改修方法
A	既設洋式流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
B	既設和式便器を撤去し、洋流便器を新設する。
C	既設洋流便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
D	既設自動水栓を撤去し、自動水栓を新設する。
E	既設温水便器を撤去し、自動水栓を新設する。
F	既設配管器具(浴槽)に付く衛生器具を撤去し新設する。

月・日

月・日

月・日

月・日

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目438番地 一級建築士 第 93977号 市川 昭

TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0059

設計

一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号

縮 尺

年月日

川越南小学校洋式トイレ化工事

南棟2、3階生徒用東女子便所衛生器具改修図

NO.

M 10

16

改修前

1階 生徒用男子便所 平面図 1/30

改修前

1階 生徒用男子便所 既設配管図 1/30

改修後

1階 生徒用男子便所 平面図 1/30

改修後

1階 生徒用男子便所 新設配管図 1/30

注記

1. 配管継ぎ目、電気配管は既設のままである。

2. 既設衛生器具の取替機の上、施工を行うこと。

3. 施工中、既設器具(改修しない設備等)を破壊した場合は、施工者側で新品にて取替を行うこと。

器具表

タイプ	型番	付属品	両端 IF	IF	取替方法
A	C5430(洋風便器)	SS430BA9(回転タンク)、TDF108(便器便座)	2	2	植付後のみ施工
B	C7550P(洋風便器)	SS708(便器便座)、SS708A(便器便座)、TDF108(便器便座)、TDF108A(便器便座)、TDF108B(便器便座)、TDF108C(便器便座)	1	1	初回便器便座

施工方法タイプリスト

タイプ	取替方法
A	既設洋式便器便座を撤去し、浴槽便座を新設する。
B	既設洋式便器便座を撤去し、洋風便座を新設する。
C	既設洋式便座を撤去し、浴槽便座を新設する。
D	既設洋式便座を撤去し、浴槽便座を新設する。
E	既設洋式便座を撤去し、浴槽便座を新設する。
F	既設洋式便座を撤去し、浴槽便座を新設する。

月・日

月・日

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目42番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司

設計

一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号

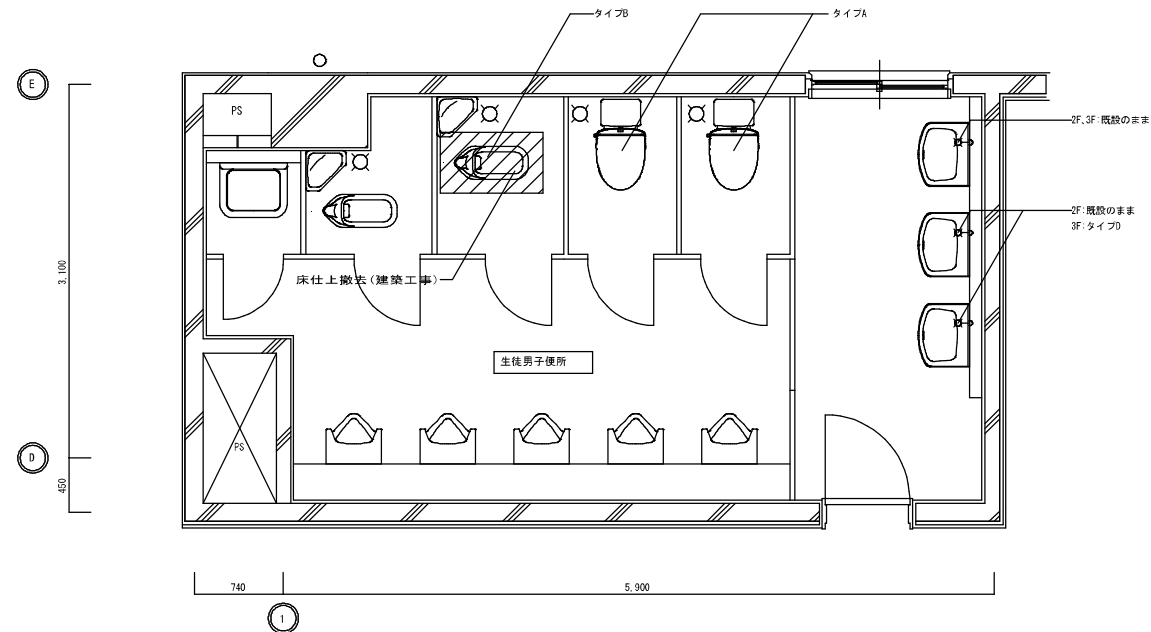
縮尺

川越南小学校洋式トイレ化工事

南棟1階生徒用東男子便所衛生器具改修図

NO. M 11 16

改修前



注記)

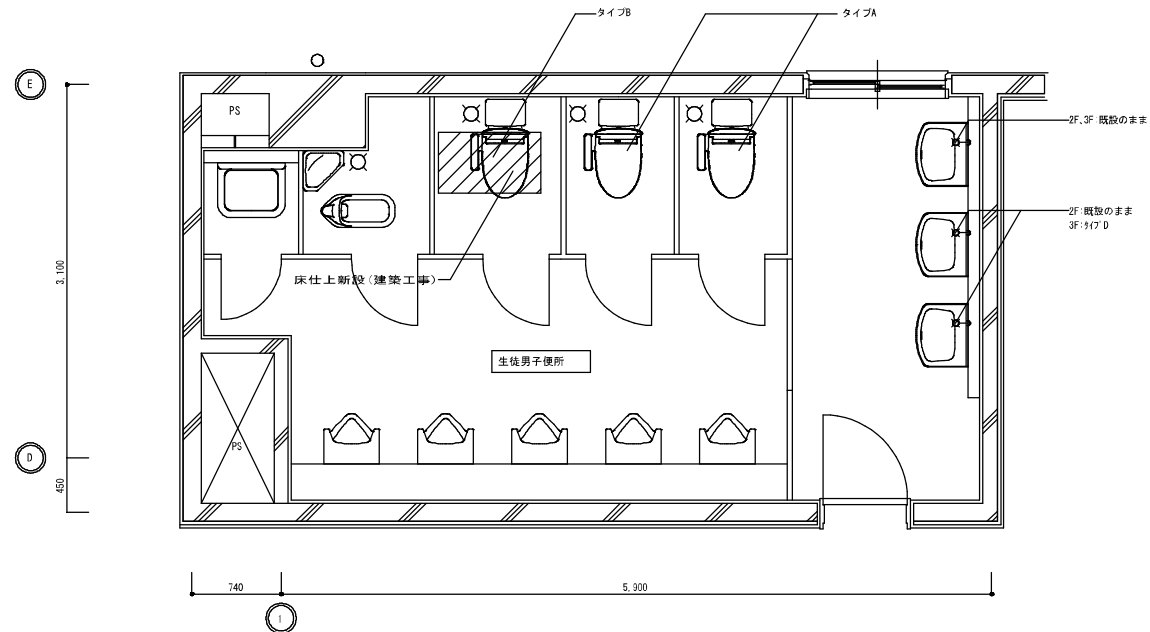
1. 記載書き限り、衛生器具は既設のままとする。
2. 既設衛生器具の型番確認の上、施工を行うこと。
3. 施工中、既存器具(改修しない便器等)を破損した場合は、施工者側で新品に無償にて取替を行うこと。

3. 施工中、既存器具(改修しない便器等)を破損した場合は、施工者側で新品に無償にて取替を行うこと。

タイプ	型番	付属品	南種 生徒用男子		計	改修方法
			評	予		
A	CS430 (洋風便座)	SS430BABL (密結タンク)、TGF108 (暖房便座)	2	2	4	暖房便座のみ撤去
B	C750WF (和風便座)	SS708 (備付タンク)、H85795S (和式便器用削火カバー)、その他器具及び金物一式	1	1	2	器具全て撤去
D	L230S (洗面器)	TEL30HAX (自動水栓)	2	2	2	自動水栓のみ撤去

 床仕上撤去範囲を示す(建築工事)

改修後



注册)

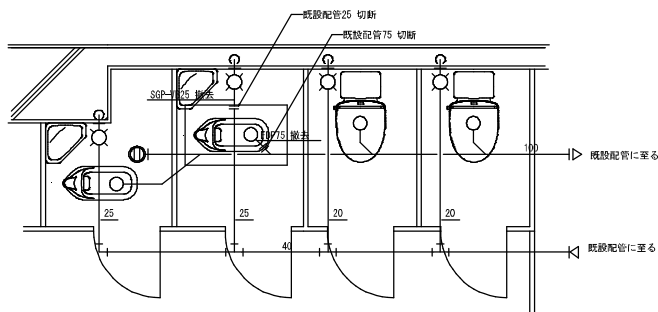
1. 改修方法は、雑詳細図を参照とする。






タイプ	参考型番	付 属 品	南緯 生産用男子		計	改修方法
			2F	3F		
A	CS430 (洋風便器)	TOF588 (温水洗浄便座)、その他必要な金物一式	2	2	4	温水洗浄便座に新設
B	CS498B0 (洋風便座)	CS438BAY (密着タンク)、TOF588 (温水洗浄便座)、HP498 (床排水ソケット)、その他必要な金物一式	1	1	2	便器共全で新設
D	DZ305 (洗面槽)	TFW40A (自動水栓)、その他必要な金物一式	2	2	2	自動水栓のみ新設

 床仕上設備図を示す(建築工事)

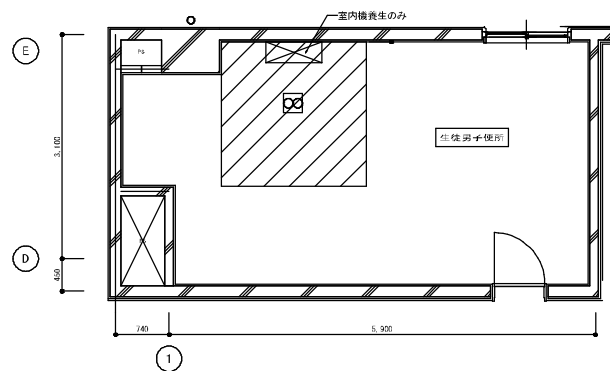
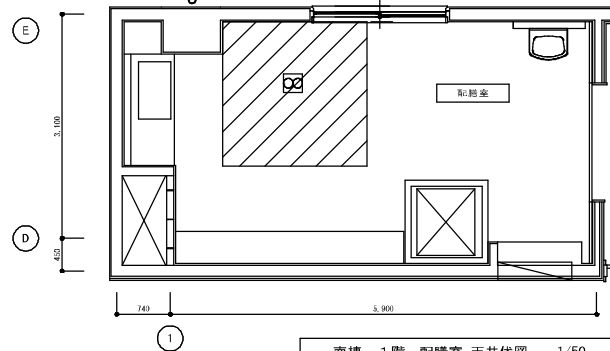
実施方法タイプリスト	
タイプ	実施方法
A	施設内式飲水装置を備え、温水・浄水処理を新設する。
B	施設内式飲水機を備え、浄水装置を新設する。
C	施設内浄水器を備え、市水浄水器を新設する。
D	施設内自動水栓を備え、自動水栓器を設置する。
E	施設内水栓を備え自動水栓を新設する。
F	施設内浄水器(逆 osmosis 型)にろ過装置を備えろ過し新設する。

改修前



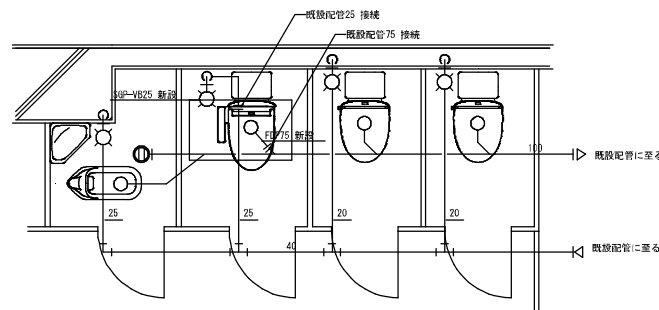
凡例	
	給水配管
	汚水配管
	配管撤去
	既定配管剪断
	床土上撤去範圍(鋪設工事)

改修前



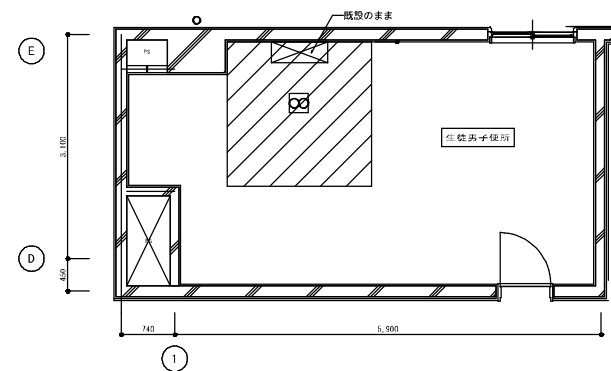
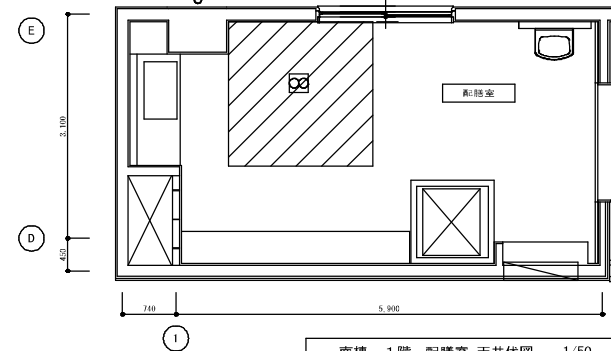
凡例	
	天井面 300角 一次取付し
	天井仕上撤去範囲(建築工事)

改修後



凡例	
	给水配管
	污水配管
	配管断版
	配管配管断版
	床下新設配管(建築工事)

改修後



凡例	
	天井径 300角 再取付
	天井仕上新設範囲(建築工事)

月 • 日		月 • 日	
•		•	
•		•	
•		•	

株式
会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

一級建築士 第 93977号 市川 司

設計

一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号	
------	--

40

4月	_____
5月	_____
6月	_____
7月	_____
8月	_____
9月	_____
10月	_____
11月	_____
12月	_____

		A3 1/60,100
--	--	-------------

川越南小学校洋式トイレ化工事

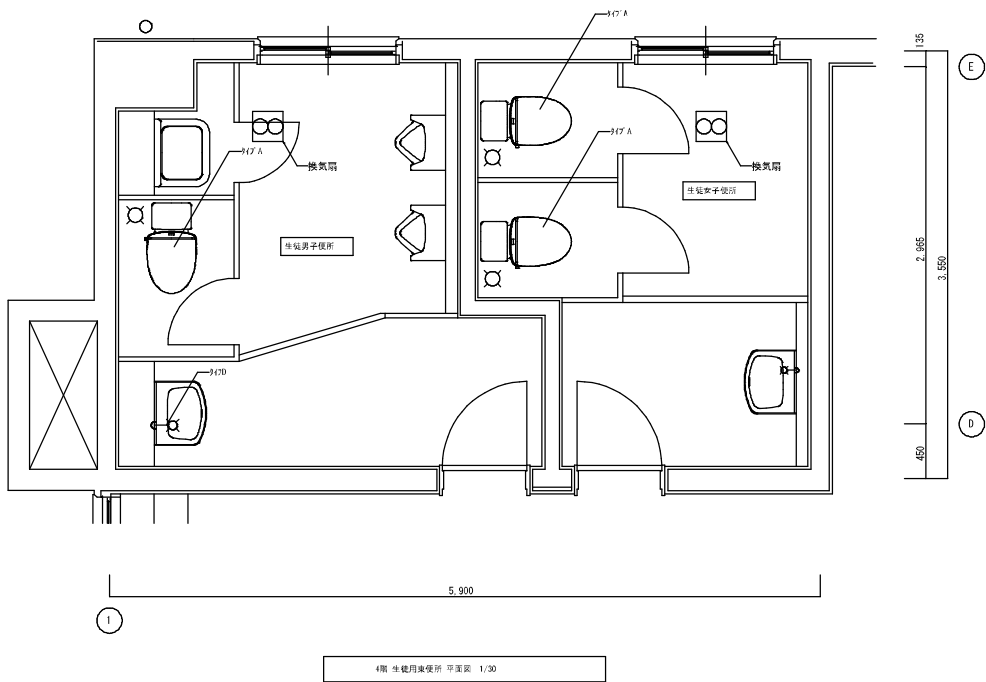
南棟2、3階生徒用東男子便所衛生器具改修区

NO.	
-----	--

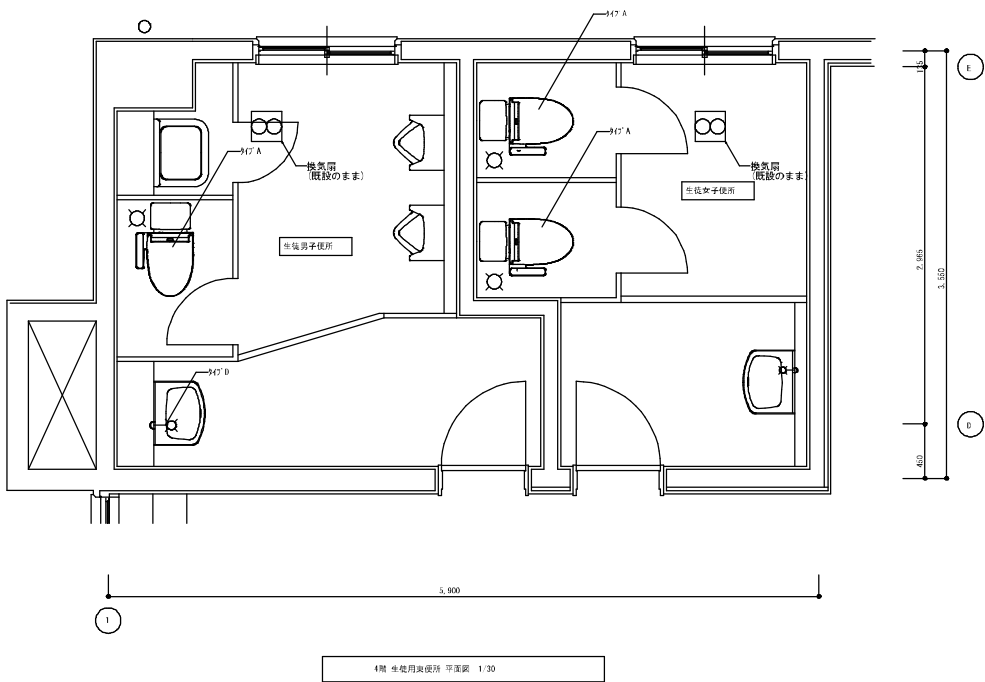
M — 12

16

改修前



改修後



注記

1. 影響範囲内、衛生器具は既設のままとする。
2. 設置衛生器具の設置確認の上、施工を行うこと。
3. 施工中、既存器具（改修しない機器等）を破損した場合は、発注者側で新品に替換にて取替を行うこと。

タイプ	型番	付 属 品	市 場 可 生 産 用 途			改 修 方 法
			男 子 便 所	女 子 便 所	計	
A	CS430 (洋組便器)	SS430ABLL (浴槽タンク) , TCF108 (便器座)	1	2	3	便器座のみ撤去
D	LUF100 (洗面鏡)	TEL320BAY (自動水栓)	1		1	自動水栓のみ撤去

注記

1. 改修方法は、確認事項を参照とする。

タイプ	参考型番	付 属 品	市 場 可 生 産 用 途			改 修 方 法
			男 子 便 所	女 子 便 所	計	
A	CS430 (洋組便器)	TCF388 (流水洗浄便座) , その他必要な金物一式	1	2	3	流水洗浄便座に取替
D	LUF100 (洗面鏡)	TEHMA06 (台付自動水栓) , その他必要な金物一式	1		1	自動水栓のみ取替

改修方法タイプリスト

タイプ	改修方法
A	既設洋式便器便座を撤去し、流水洗浄便座を新設する。
B	既設和式便器を撤去し、洋組便器を新設する。
C	既設自動水栓を撤去し、流水洗浄便座を新設する。
D	既設自動水栓を撤去し、流水洗浄便座に取替する。
E	既設自動水栓を撤去し、自動水栓を新設する。
F	既設和式便器（浴槽入り便器）に付く衛生器具を撤去し新設する。

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男総合設計
三重県津市栄町二丁目42番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

設計
一級建築士 第266489号 山口 裕之

標準番号	縮 尺
表 月 日	A1 1/30 A3 1/60

川越南小学校洋式トイレ化工事
南棟4階生徒用東便所衛生器具改修図

改修前

1階 床仕上撤去(建築工事)
1階 床仕上撤去(建築工事)
2、3階 床仕上撤去(建築工事)

生徒女子便所
生徒男子便所

1～3階 生徒用便所 平面図 1/30

注記)

- 記載無き様子、衛生器具は既設のままとする。
- 既設衛生器具の勾配確認の上、置換を行うこと。
- 施工中、既存器具(改修しない便器等)を破損した場合は、施工者側で新品に換装にて取替を行うこと。

タイプ	型番	付 属 品	北城 生徒用						計	改修方法
			男子便所			女子便所				
			1F	2F	3F	1F	2F	3F		
A	GS432(洋流便器)	SS708(洋流便器)	1	1	1	1	1	1	6	洋流便器のみ撤去
B	CS750(洋流便器)	SS708(洋流便器)				1	1	1	3	洋流便器撤去
D	LS103(洋流便器)	TEL308X(自動水栓)	1	2	2	1	2	2	10	自動水栓のみ撤去

1階床仕上撤去範囲を示す(建築工事)

2、3階床仕上撤去範囲を示す(建築工事)

1階 生徒用便所 既設配管図 1/30

2、3階 生徒用便所 既設配管図 1/30

タイプ	参考型番	付 属 品	北城 生徒用						計	改修方法
			男子便所			女子便所				
			1F	2F	3F	1F	2F	3F		
A	GS432(洋流便器)	TSF588(洋流便器用), その他必要な金物一式	1	1	1	1	1	1	6	洋流便器便所に新設
B	GS432(洋流便器)	SP4088X(洋流便器), TSF588(洋流便器用), HPM08(洋流水ノズル), その他必要な金物一式				1	1	1	3	洋流便器 新設
D	LS103(洋流便器)	TEL308X(自動水栓), 必要な金物一式	1	2	2	1	2	2	10	自動水栓のみ新設

1階床仕上撤去範囲を示す(建築工事)

2、3階床仕上撤去範囲を示す(建築工事)

1階 生徒用便所 新設配管図 1/30

2、3階 生徒用便所 新設配管図 1/30

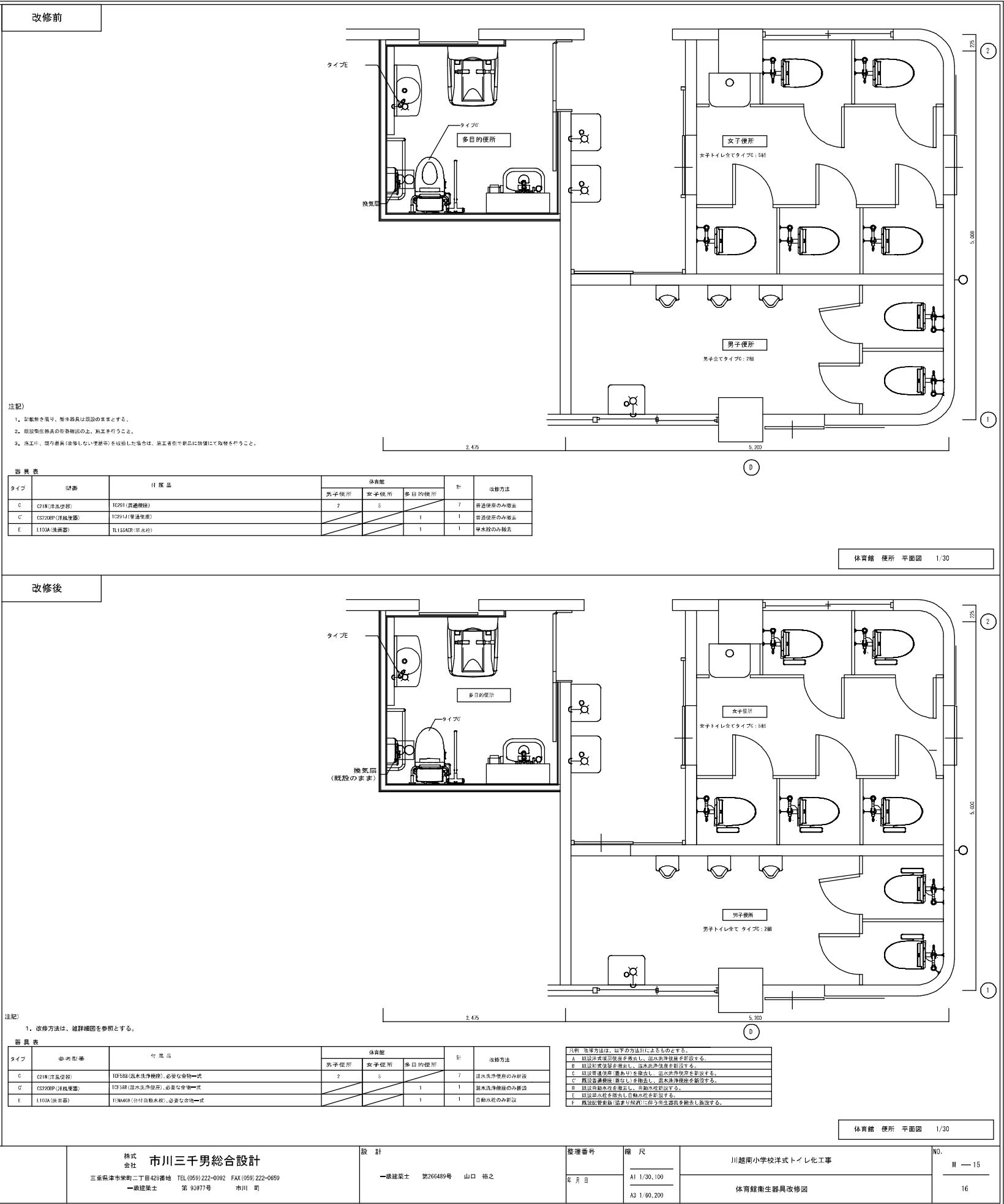
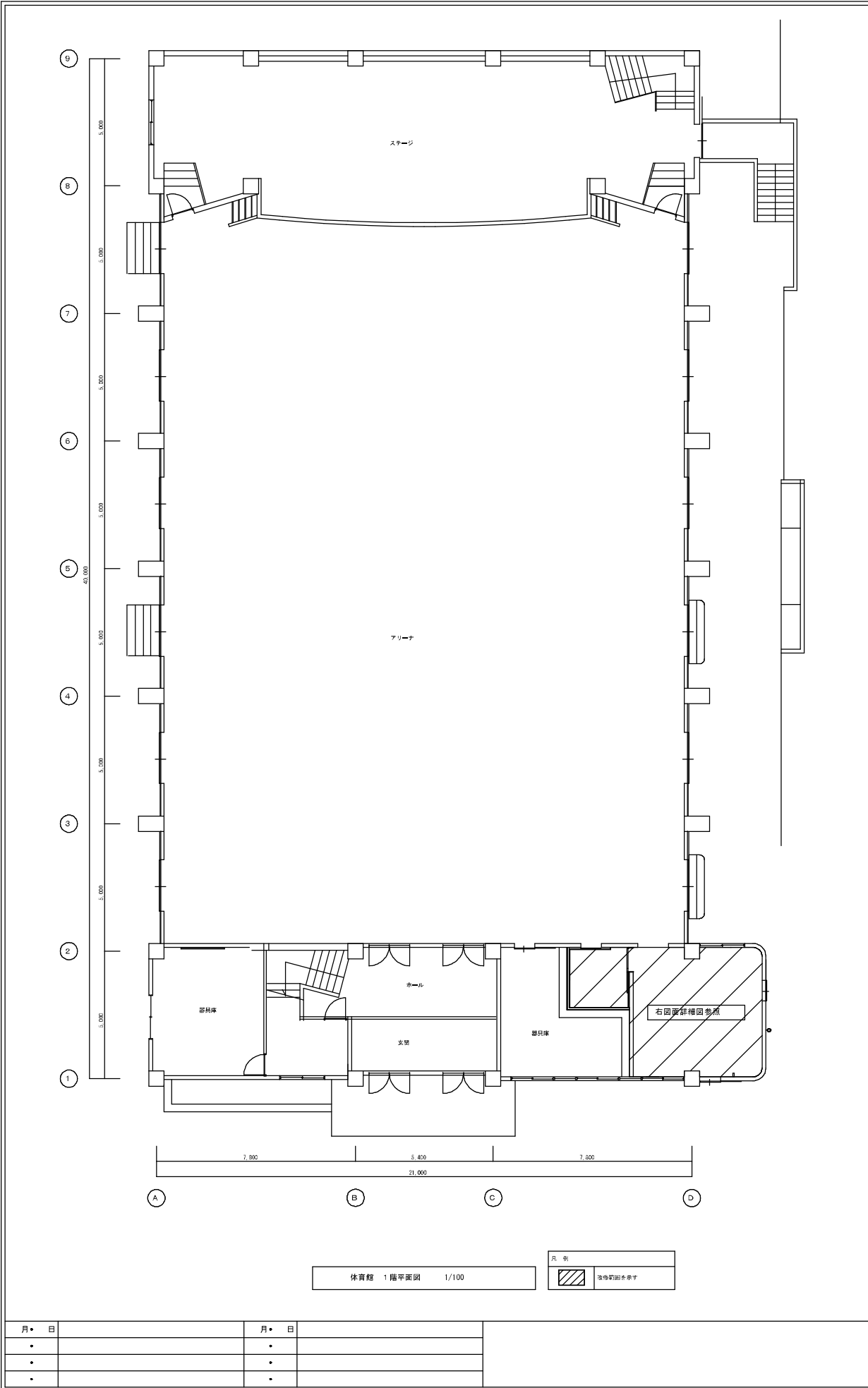
月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男総合設計
三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0959
一級建築士 第 93977号 市川 司

設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号 縮 尺 川越南小学校洋式トイレ化工事
月 日 A1 1/30 A3 1/60 北棟1～3階生徒用便所衛生器具改修図

NO. M 14 16



- 凡例 改修方法は、以下の方法別によるものとする。
- A 既設洋式暖房便座を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
 - B 既設和式便器を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
 - C 既設普通便座(蓋あり)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
 - C' 既設普通便座(蓋なし)を撤去し、温水洗浄便座を新設する。
 - D 既設自動水栓を撤去し、自動水栓新設する。
 - E 既設単水栓を撤去し自動水栓を新設する。
 - F 既設配管更新(詰まり解消)に伴う衛生器具を撤去し新設する。

改修方法図 ※改修方法Fは、実施図参照とする。

タイプA		タイプB	
タンク式・床給水の場合		タンク式・壁給水の場合	
改修前	改修後	改修前	改修後
フラッシュバルブ式・床給水の場合		改修後	
改修前			
タイプC		タイプD	
改修前	改修後	改修前	改修後
タイプC'		タイプE	
改修前	改修後	改修前	改修後
※タンク式の場合も同様とする。			